

# 第8回陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略策定会議(令和元年9月12日開催)における効果検証

※ 委員から意見のあった項目のみ記載

## 1 基本目標等について

基本目標	内容	委員からの意見
1 陸前高田市への新たな人の流れを創造し、「思民」が集うまちをつくる	基本目標において設定したKPI「交流人口(観光入込数)」に関連した取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅「高田松原」が完成するということが、いかにそこから中心市街地へ人を呼び込めるかが重要である。</li> <li>・道の駅ができるということが東京にいると聞こえなくなっている。地域での取組は行っていることと思うが、東京、大阪など外でのアピールを行うと人を呼ぶのに有効と思われる。</li> <li>・地域の農業者も道の駅の完成に非常に期待している。震災前は道の駅でも農業関連のイベントなどを行っていたが、今回の道の駅でも、産業まつり等、各種イベントを開催できるよう検討いただきたい。</li> <li>・情報発信の点について、現在はFacebookにおいて、市民の方向けと市外の方向けの情報が混在していることと思う。それぞれ求める情報が異なると思うので、発信方法については工夫する必要があると考える。また、最近の状況として、メディアよりも一般の方の口コミによる発信力が非常に強くなってきており、今までと異なった人を呼ぶ方法が生まれてきているので何かあれば協力したい。</li> </ul>
2 復興を契機に若者が活躍できるしごとの創出につなげる	基本政策④「起業家・新規事業者応援プロジェクト」のKPI「企業プランコンテスト応募者からの起業者数」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の企業プランコンテストを拝見し、事業化につなげるよう検討いただきたい。</li> </ul>

## 2 対象事業について

基本目標	基本施策	具体的な施策	事業名	事業内容(総合戦略策定時点の構想)	取組状況	委員からの意見
1 陸前高田市への新たな人の流れを創造し、「思民」が集うまちをつくる	① 「陸前高田思民」の拡大と市民総活躍の環境づくり	陸前高田に関心と愛着を持ち続けている人を対象とした「陸前高田思民」制度の創設	「陸前高田思民」創設事業	本市に関心と愛着を持ち、何度も繰り返し訪問され、市民交流を続けている方々や、ふるさと納税に協力をいただいた人など、本市に関わりを持ち続けている方々を対象として、「思民」の会員募集や情報発信を行い、本市との新たな人の流れを創造する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に思民が増加していく仕組みを目指し、思民候補者に対するヒアリング調査及び地域特性等を踏まえた分析を実施</li> <li>・ふるさと納税サイトを通じたPRを継続するとともに、交流会、物産店及び各種イベント等を利用したPRを実施</li> <li>・思民会員に対し、会員証の発行やメールマガジンや会報の送付等を実施</li> <li>・思民のより一層の拡大を目的に、特典内容や登録方法等も含む新たな制度設計を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、ふるさと納税を行っていただいた方のうち希望者を「思民」と位置付けており、見直しを考えているとのことだが、「思民」というマインドを持ち、よそ者でも何かの形で関われるよう検討いただきたい。</li> </ul>
		フルーツ・フラワーパーク(仮称)構想の推進	(仮称)今泉北地区造成事業 農村公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フルーツフラワーパーク等の整備(りんご・ゆず・いちご等地域農産物の栽培及び収穫体験、四季を通じて楽しめるフラワーガーデン、農産物加工施設の整備及び加工品販売、市民農園、動物とのふれあい広場)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「今泉北地区造成事業」復興交付金で基盤整備する目的が立ったことにより、ワタミファーム&amp;エナジーが農業のプレーヤーとなることが確定した。</li> <li>○「ピーカンナッツプロジェクト」</li> <li>・苗木育成施設の設計完了。</li> <li>・地域おこし協力隊を採用し、農業人材育成に着手。</li> <li>・集客エリアに係る基本計画(コンセプト、図面等)の作成</li> <li>・ピーカンナッツの健康効果に係る臨床研究及び広報に着手。</li> <li>・市内飲食店における普及促進や学校における食育、産業まつり等のイベントでのPRを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在はピーカンナッツの取組は進んでいるようだが、りんご・ゆず・いちご等の農産物や地域住民との関わりについても、しっかり取り組んでいただきたい。</li> </ul>
		半農・半漁の半島ライフの推進	(仮称)広田地区定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人等と連携し、広田半島において移住者の新しいライフスタイルを確立しながら、定住を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンク物件登録件数 9件(累計12件)</li> <li>・空き家バンク利用登録件数 12件(累計14件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的な感覚として、移住者の絶対数は多くないものの、移住のマインドは加速しているように感じる。大学でも、実際に高田に移住した方から話を聞き、ストーリーを学生に伝えるということをしているので、何か移住を決める傾向のようなものを出すことができれば、役に立つのではと考えている。</li> </ul>
	陸前高田版「空き家バンク」の設置	空き家利活用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【空き家バンク制度の創設(データベース化)とワンストップ窓口による相談員の配置】</li> <li>・市内の活用可能な空き家の情報収集と、空き家バンクへの登録を推進する。</li> <li>・空き家の情報に関する相談、斡旋のワンストップ窓口を設置し、移住希望者への情報提供と移住に当たっての相談対応を行う。(専門相談員設置)</li> <li>・移住者に対して、一定期間(3年程度)の居住後に奨励金を交付し、移住後の定着を図る。</li> <li>・民間企業と連携した仕事の紹介・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住に係るポータルサイトを管理運営し、移住者向けの仕事のページを新たに作成した。</li> <li>・移住希望者に対するワンストップ窓口を運営し、空き家や仕事の紹介、地域コミュニティの仲介を実施した。</li> <li>・空き家改修の相談件数0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業者など、空き家情報を必要としている事業者はあるので、まずは現場レベルで、担当者と話し合うなどしていけば、上手くマッチングすることもあると思う。</li> </ul>	

## 2 対象事業について

基本目標	基本施策	具体的な施策	事業名	事業内容(総合戦略策定時点の構想)	取組状況	委員からの意見
3 結婚・出産の希望をかなえ、子育てを協働で支える環境をつくる	⑤ たかたっ子、子育てサポート体制づくり	妊娠・出産・子育て総合支援の充実	妊産婦支援事業	【妊産婦支援の実施】 ・妊娠中や出産直後に日常生活で困っている家庭をヘルパー等が訪問し、相談支援や家事援助等を行う。	・助産師、保健師の専門職による訪問は、妊婦98件、産婦90件であった。	・産後の女性の死因第1位が自殺となっており、産後鬱のピークである産後の2週間をプロの方がケアするのは非常に重要なため、事業の継続をお願いしたい。
			出産祝い金支給事業	【子ども子育て世代への経済的応援事業の実施】 ・市内に住所を有して出産・養育している父母にお祝い金を支給する(第1子10万円、第2子50万円、第3子以降100万円)。 ・出生届け一件ごとに子ども養育セットを支給する。	子育てクーポン券を発行した。(1セット=1,000円券×10枚綴) ・対象者…345人 ・申請者…343人 ・発行セット…655セット	・平成は女性活躍の時代であり、令和は男性の家庭参画の時代とするため、次年度に向けては、父親にプラスアルファとなるような施策について、検討いただきたい。
	⑥ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の確立	子育てと仕事の両立への支援	ワーク・ライフ・バランス事業	・従業員の働き方の見直しや育児休業の取得促進に関する助言等を行うことにより、働きやすい職場づくりに取り組む事業所を支援する。 ・仕事と家庭を両立できる「働き方」の実現を目指した研修会・講演会を開催する。	・市内事業者を対象としたワーク・ライフ・バランスに係る講演会を実施	・講演会を今年度も引き続き実施されたい。